

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	宮崎県東臼杵郡椎葉村	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	椎葉伝統文化活性化計画		
4 実施計画期間	平成 28 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>第5次椎葉村長期総合計画</p> <p>【基本方針】 民俗芸能・文化財の保存保護と活用を推進することで、村の振興及び歴史の継承や郷土愛の育成を図ります。また、文化協会を中心とした村民の芸術・文化活動の促進及び芸術・文化にかかる施設の整備及び活用に取り組みます。</p> <p>【施策】 1 民俗芸能、文化財の保存保護と活用 2 芸術・文化活動の促進 3 施設の整備と活用の促進</p> <p>以上の「基本方針」、「施策」に沿って椎葉伝統文化活性化計画を策定し、村全体で伝統文化を保存・継承、活用していくため平成29年度は以下の事業を計画している。</p> <p>1. 地域の文化遺産情報発信事業 ・椎葉文化遺産ウェブサイト構築事業</p> <p>2. 地域の文化遺産記録作成・調査研究事業 ・「臼太鼓踊り」の緊急映像記録（平成28年度～平成29年度） ・「椎葉神楽」の映像記録作成事業（平成28年度～平成33年度） ・椎葉年中行事映像記録作成事業（平成29年度～平成31年度）</p>			
6 実施体制			
<p>椎葉村教育委員会の指導監督の下、椎葉民俗芸能博物館内に「椎葉村伝統文化活性化事業実行委員会」を組織して事業を遂行する。椎葉民俗芸能博物館には「無形民俗文化財」、「狩猟文化」、「焼畑などの農業文化」等の展示が四季毎に展示されており、その内容を充実していくことで成果物を活用していく。</p> <p>委員会では、地域の保存会とともに、村内で活動するガイドの会と連携を図り、事業を実施していく。</p> <p>また、民俗芸能に関わる事項を扱うにあたっては、文化庁文化財調査官（芸能部門）と、県指定文化財に関する事項を扱うにあたっては、宮崎県教育委員会と、椎葉村教育委員会を通して連携をとり、ご指導を仰ぐと共に、学術、文化財行政での適正さを担保しながら事業を遂行していく。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果	別紙①のとおり		
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 2,510 千円	平成29年度申請額： 9,320 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>椎葉村には、世界文化遺産に登録された焼畑農法による習俗、現在でも生業として受け継がれているイノシシを中心とする狩猟文化、重要無形民俗文化財に指定されている椎葉神楽、民謡ひえつき節、平家落人伝説にまつわる天然記念物八村杉、重要文化財那須家住宅、椎葉村十根川重要伝統的建造物群保存地区など、多くの文化遺産があり住民もそれぞれに誇りを感じてはいるものの、椎葉村全体としての文化財活用には至っていない。今次活用計画の実施により、それぞれの文化財の連携をはかり、住民の保存活用意識が向上することで、椎葉村総体として定住人口の維持、観光来客数の増加、椎葉文化認知度の圧倒的向上が見込まれる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
検討中			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	椎葉村教育委員会事務局教育課社会教育グループ		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	文化遺産周辺における外国人宿泊客数の増加			関連事業 :	事業①	
目標値 1 :	平成 28 年度 20 人 ⇒ 平成 33 年度 100 人					
設定根拠 1 :	平成28年度の外国人宿泊客数を20人、平成33年度における目標を100人とする。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	平成29年度開設予定のサイトのPV数			関連事業 :	事業①	
目標値 2 :	平成 30 年度 20,000 PV ⇒ 平成 33 年度 50,000 PV					
設定根拠 2 :	平成30年度PV数を20,000として平成33年度に50,000。うち海外からのアクセス比率の向上。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
PV	PV	PV	PV	PV	PV	
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	祭礼を始め伝統文化行事への一時帰村人日の増加			関連事業 :	事業②・③・④	
目標値 3 :	平成 28 年度 100 人 ⇒ 平成 33 年度 130 人					
設定根拠 3 :	平成28年度神楽期の人日数を100人、平成33年度に130人を目標値として設定する。					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 4 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 4 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	習俗、生業、芸能等に地域の伝統文化に関わる住民数			関連事業 :	事業②・③・④	
目標値 4 :	平成 28 年度 480 人 ⇒ 平成 33 年度 480 人					
設定根拠 4 :	平成28年度の保存会員数480人を平成33年度において下回らない(人口自然減を除く現状維持)					
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	

事業④：	椎葉年中行事映像記録作成事業		実施団体：	椎葉村伝統文化活性化事業実行委員会		
事業区分：	記録作成		事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 31 年度		
事業概要：	高齢化が進み今しか出来ない椎葉村の伝統的な年中行事（生活や生業のなかの習俗でおよそ80項目）を映像で記録する。					
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	椎葉村の伝統的な年中行事参加者数300人を維持する。					
目標値：	平成 29 年度		300 人		⇒ 平成 33 年度 300 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	